

## 令和2年度第2回インターネットアンケート調査の結果について

### ○「千葉県がん対策に関する調査」について

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

電話 043-223-2670

#### 1. 調査の目的

県では、「第3期千葉県がん対策推進計画」（計画期間：平成30年度～令和5年度）に基づき、がんの予防・早期発見、医療、がんと共生などのがん対策を総合的かつ計画的に推進しています。

計画の中間評価に当たり、県が進めているがん対策について、皆様が普段感じていること、あるいは考えておられることなどを把握し、計画の評価や目標の見直し等、今後のがん対策の方向性を検討していくための資料として活用することを目的として、皆様のご意見を伺いました。

#### 2. 調査の実施状況

- (1) 調査対象 アンケート調査協力員 1, 538人
- (2) 調査時期 令和3年1月29日～2月11日
- (3) 調査方法 インターネットアンケート専用フォームへの入力による回答
- (4) 回答状況 アンケート調査協力員1, 538人のうち228人（回答率14.8%）
- (5) 調査項目

問1. あなたは、がん予防をするために日頃からどんなことを実践していますか。

問2. 症状が出る前のがんを発見し、早期の治療に結び付けるために、胸や胃のレントゲン撮影やマンモグラフィ検査などによる「がん検診」が行われています。あなたは、このような「がん検診」を受けたことがありますか。

問2-2. あなたがこれまで、あるいは最近、がん検診を受けない理由は何ですか。

問3. あなたは、どのようなところからがんに関する情報を得ていますか。

問4. がん専用サイト「千葉県がん情報 ちばがんナビ」を知っていますか。

問5. がんと診断されたとしたら、治療と現在の仕事を両立していくにあたって、どのような支援が必要だと思えますか。

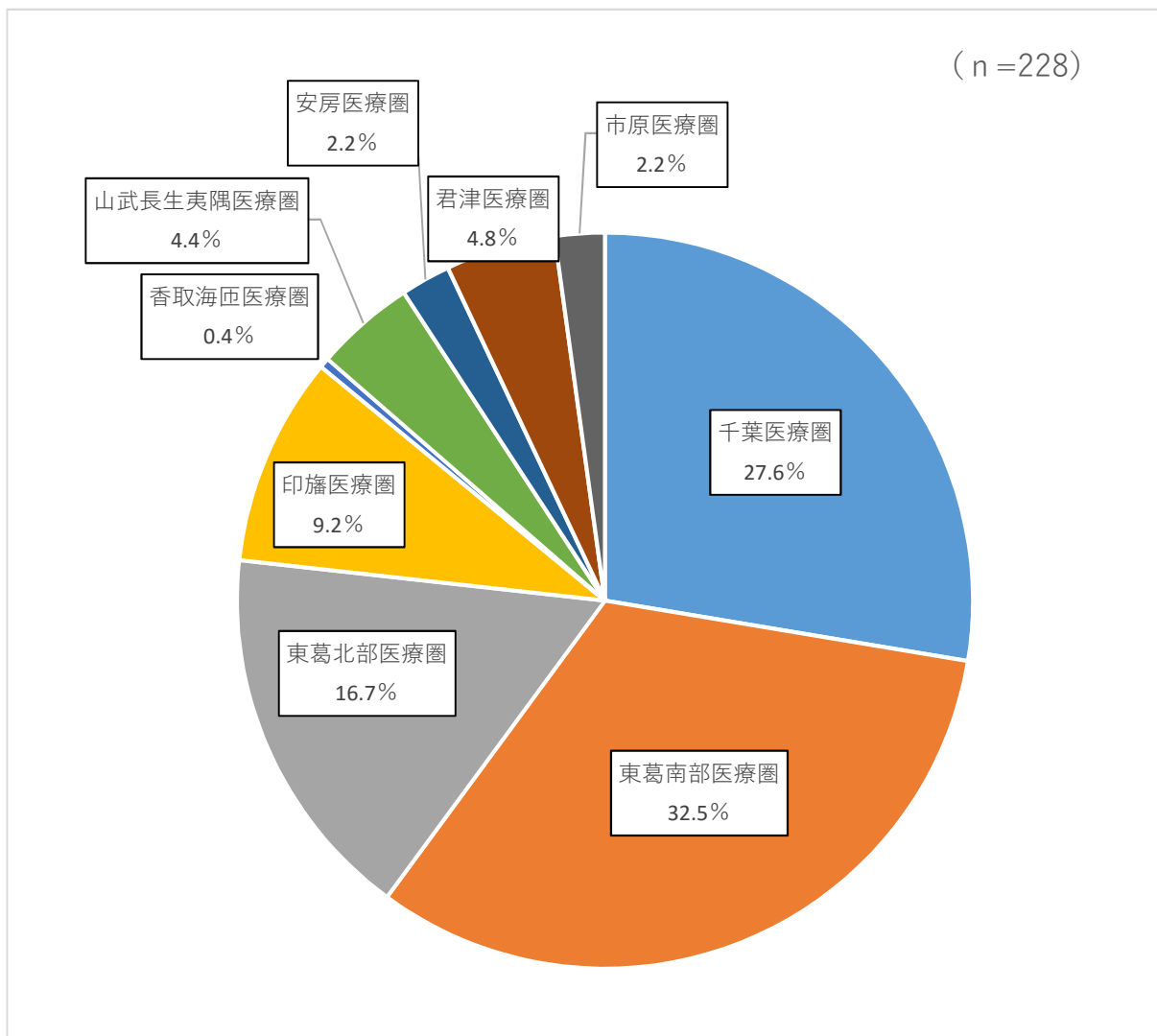
問6. がんを治すことが難しくなり、あなたの人生の時間が残り少なくなった場合、痛みなどの症状が和らいだ状態で日常生活を送ることができるとしたら、どのように過ごしたいと思えますか。

問7. あなたは、がんゲノム医療について知っていましたか。

問8. あなたは、がん対策について、県としてどのようなことに力を入れてほしいと思えますか。

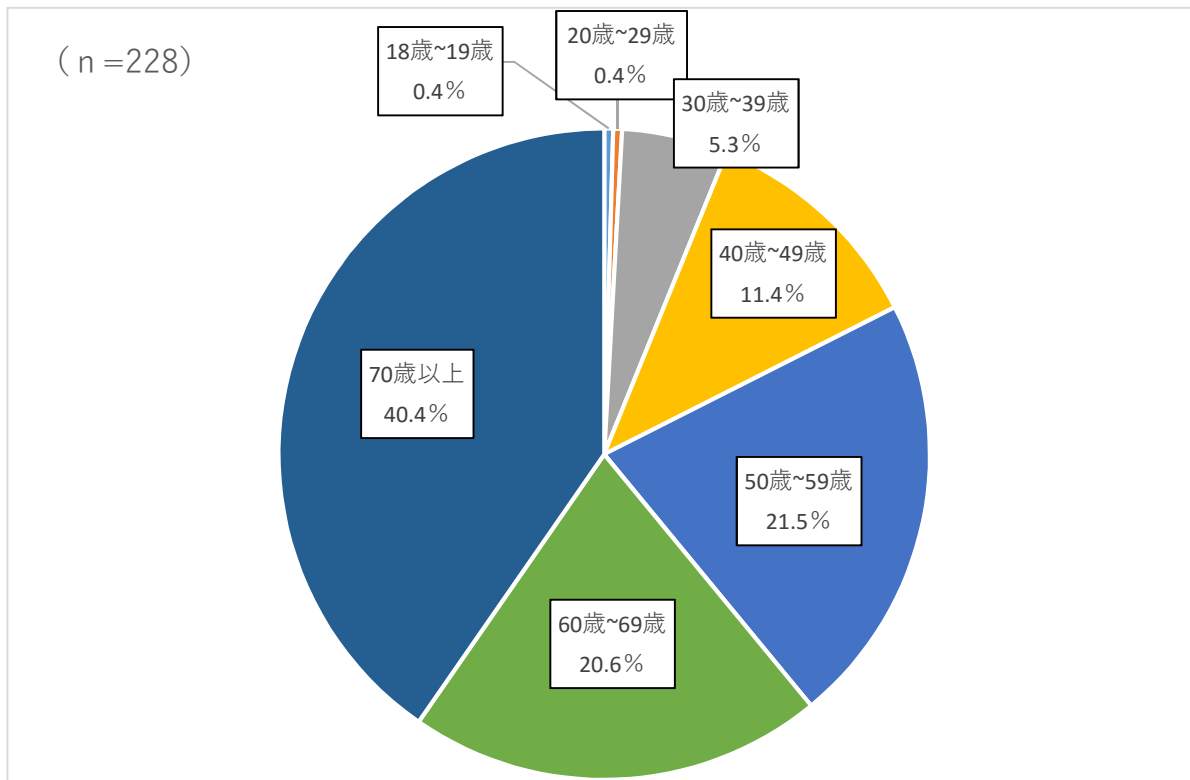
### 3. 回答者の構成

(1)居住地 (回答者数 : 228人)



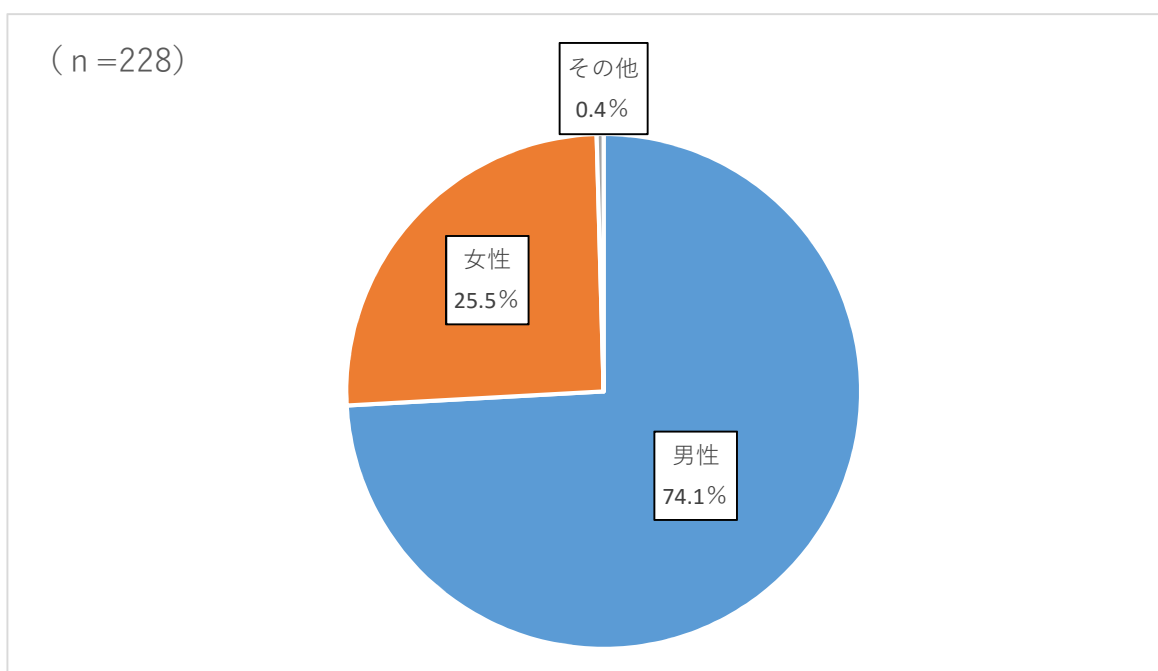
居住地については『東葛南部医療圏』が 32.5%と最も多く、次いで『千葉医療圏』が 27.6%となりました。

(2) 年齢 (回答者数 : 228人)



年齢については、『70歳以上』が40.4%と最も多く、次いで『50歳~59歳』が21.5%となりました。

(3) 性別 (回答者数 : 228人)

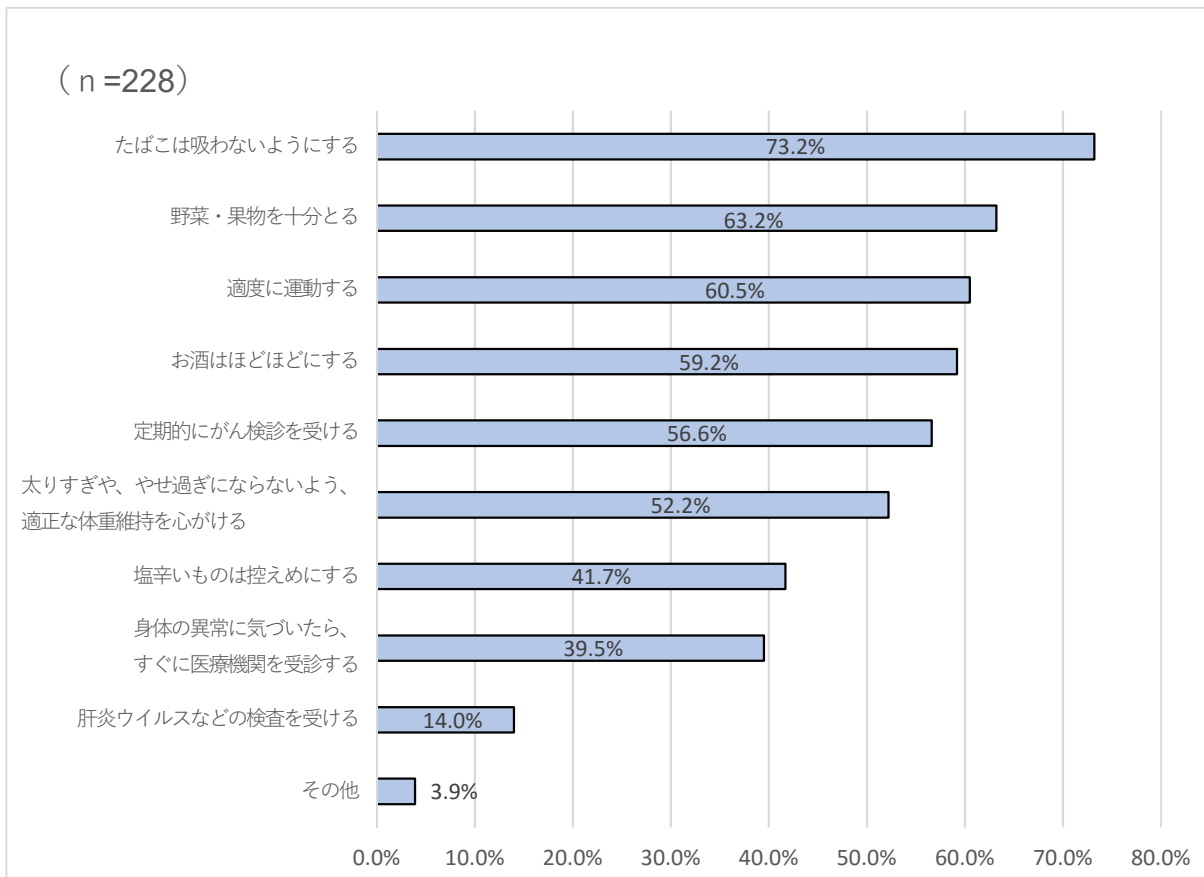


性別については、『男性』74.1%で最も多く、次いで『女性』の25.5%となりました。

#### 4. 調査結果

問1. あなたは、がんを予防するために日頃からどんなことを実践していますか。

(いくつでも) (回答者数：228人)

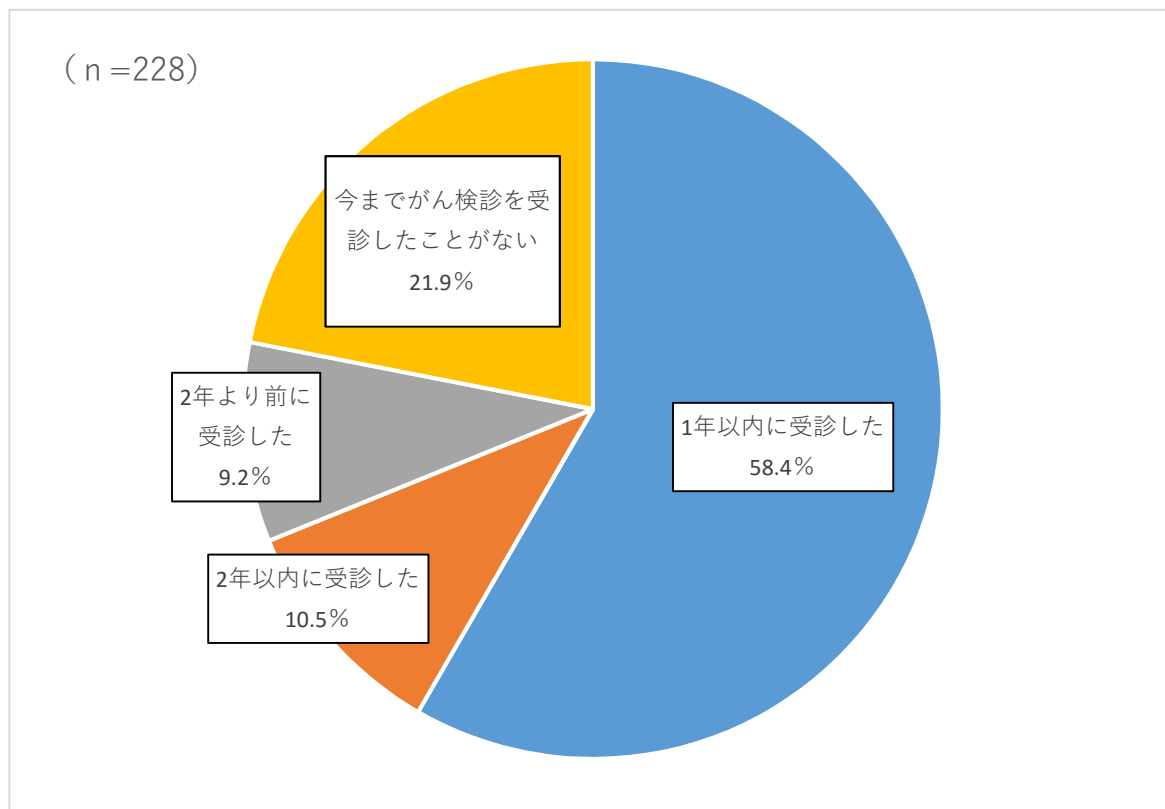


がんを予防するために日頃から実践していることをたずねたところ、『たばこを吸わないようにする』が73.2%と最も多く、次いで『野菜・果物を十分とる』が63.2%、『適度に運動する』が60.5%、『その他』が3.9%でした。

また、『その他』の答えの中には、「ストレスをためない」、「添加物の多いものを摂らないようにしている」、「医療関係番組を録画し、医療知識を蓄える」などの意見がありました。

問2. 症状が出る前のがんを発見し、早期の治療に結び付けるために、胸や胃のレントゲン撮影やマンモグラフィ検査などによる「がん検診」が行われています。あなたは、このような「がん検診」を受けたことがありますか。

(回答者数：228人)

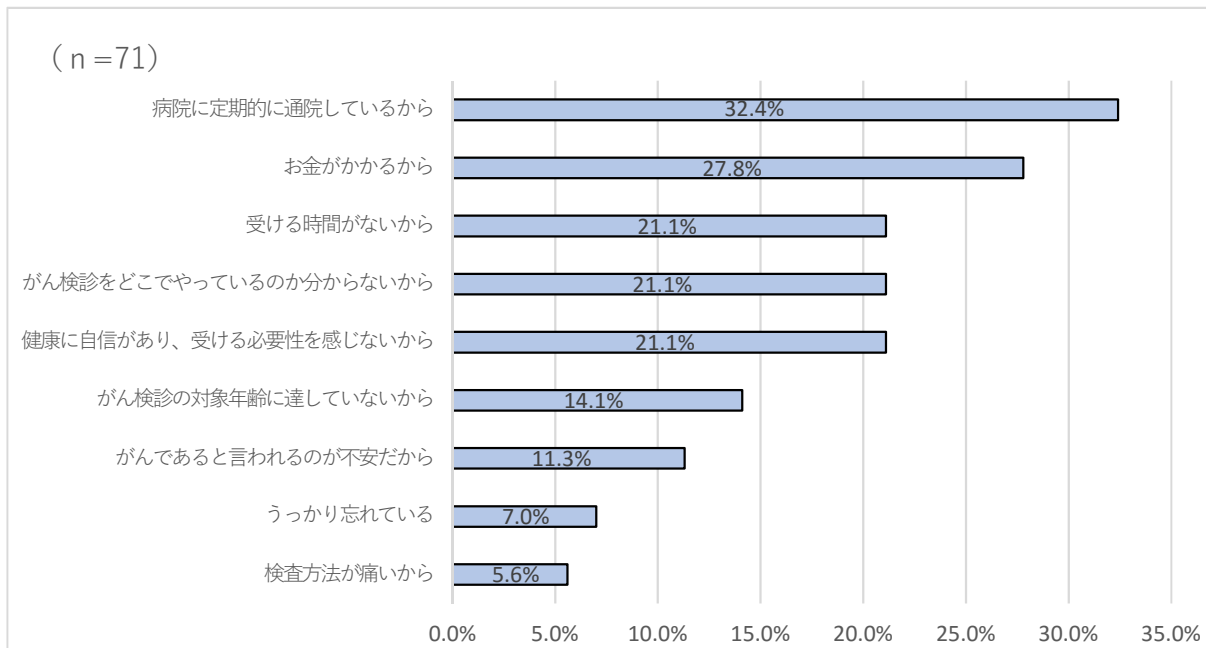


がん検診の受診についてたずねたところ、『1年以内に受診した』が58.4%と最も多く、次いで『今までがん検診をしたことがない』が21.9%でした。

【問2】で『2年前より前に受診した』、『検診を受診したことがない』と答えた方に聞きました。

問2-2. あなたがこれまで、あるいは最近、がん検診を受けない理由は何ですか。

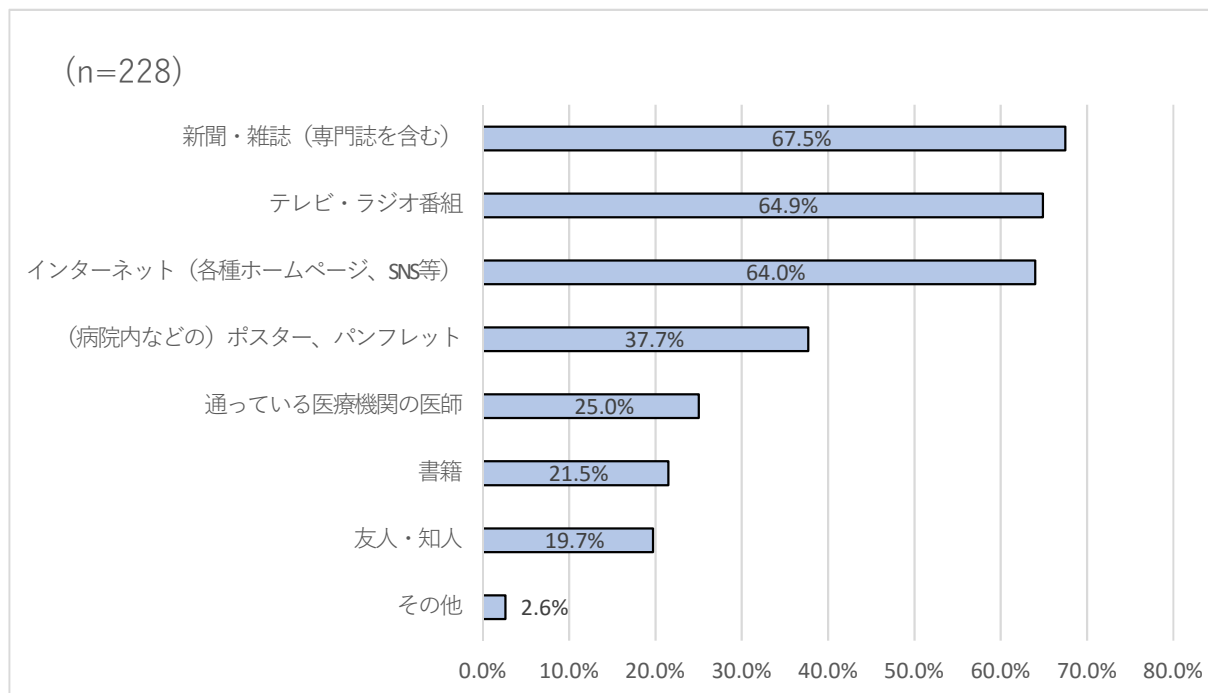
(いくつでも) (回答者数：71人)



がん検診を受けない理由をたずねたところ、『病院に定期的に通院しているから』が32.4%と最も多く、次いで『お金がかかるから』が27.8%でした。

問3. あなたは、どのようなところからがんに関する情報を得ていますか。

(いくつでも) (回答者数：228人)

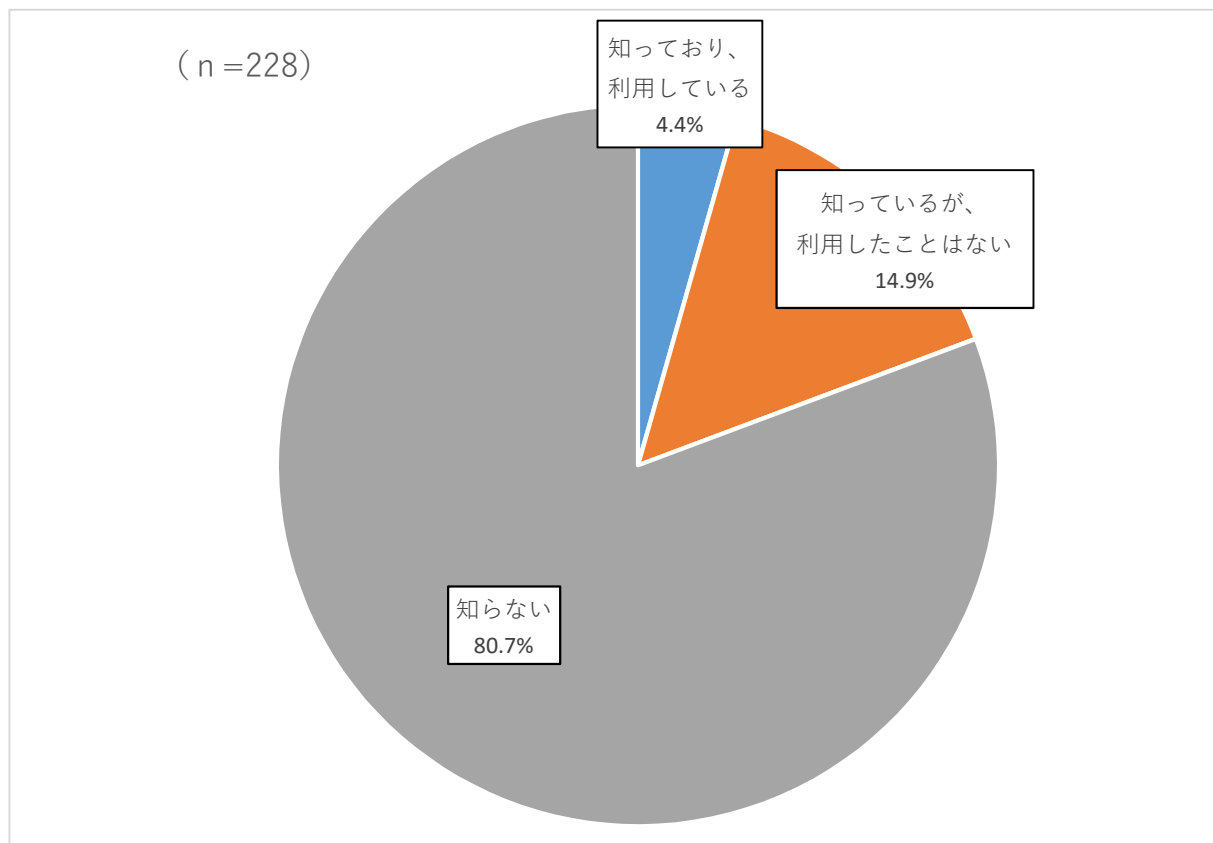


どのようなところからがんに関する情報を得ているかについてたずねたところ、『新聞・雑誌（専門誌含む）』が67.5%と最も多く、次いで『テレビ・ラジオ番組』が64.9%でした。

また『その他』の答えの中には「職場」、「健康保険組合のパンフレット」、「ツイッター」などの意見がありました。

問4. がん専用サイト「千葉県がん情報 ちばがんナビ」を知っていますか。

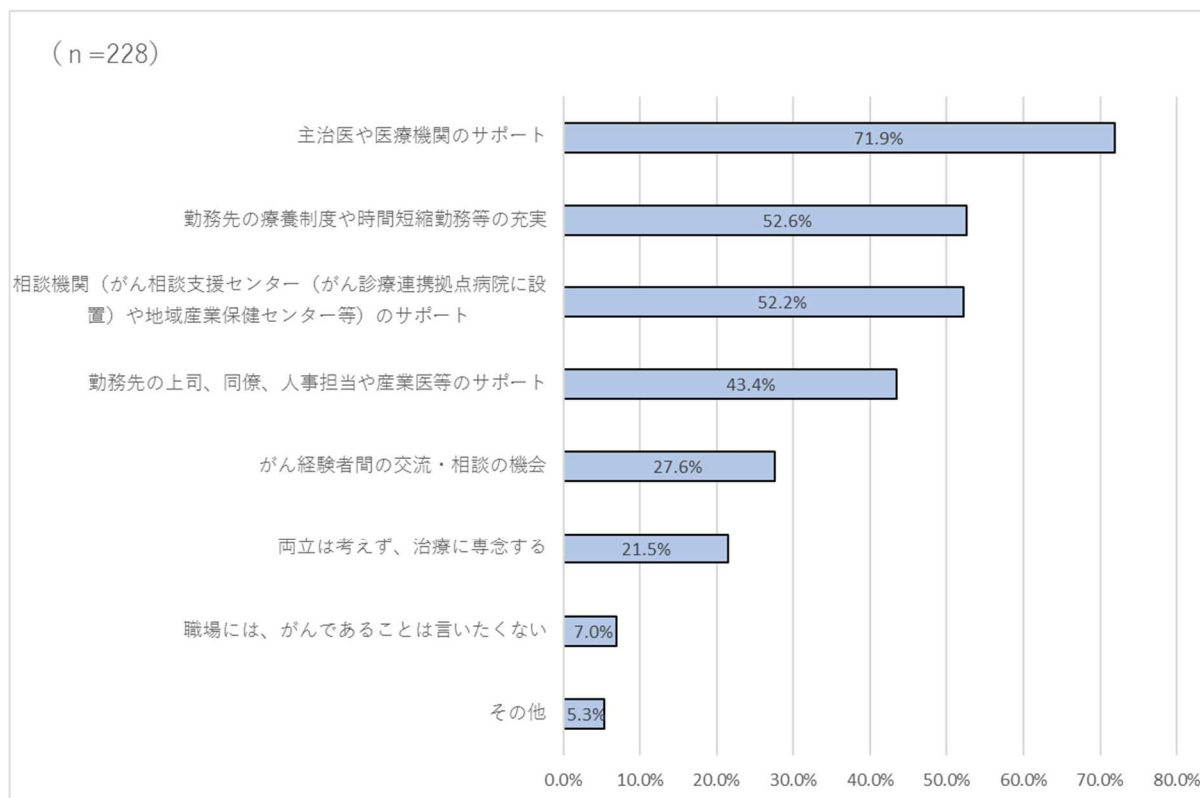
(回答者数：228人)



千葉県がん情報「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知についてたずねたところ『知らない』が80.7%と最も多く、次いで『知っているが、利用したことはない』が14.9%、『知っており、利用している』は4.4%でした。



問5. 治療と現在の仕事を両立していくにあたって、どのような支援が必要だと思いますか。  
(いくつでも) (回答者数：228人)

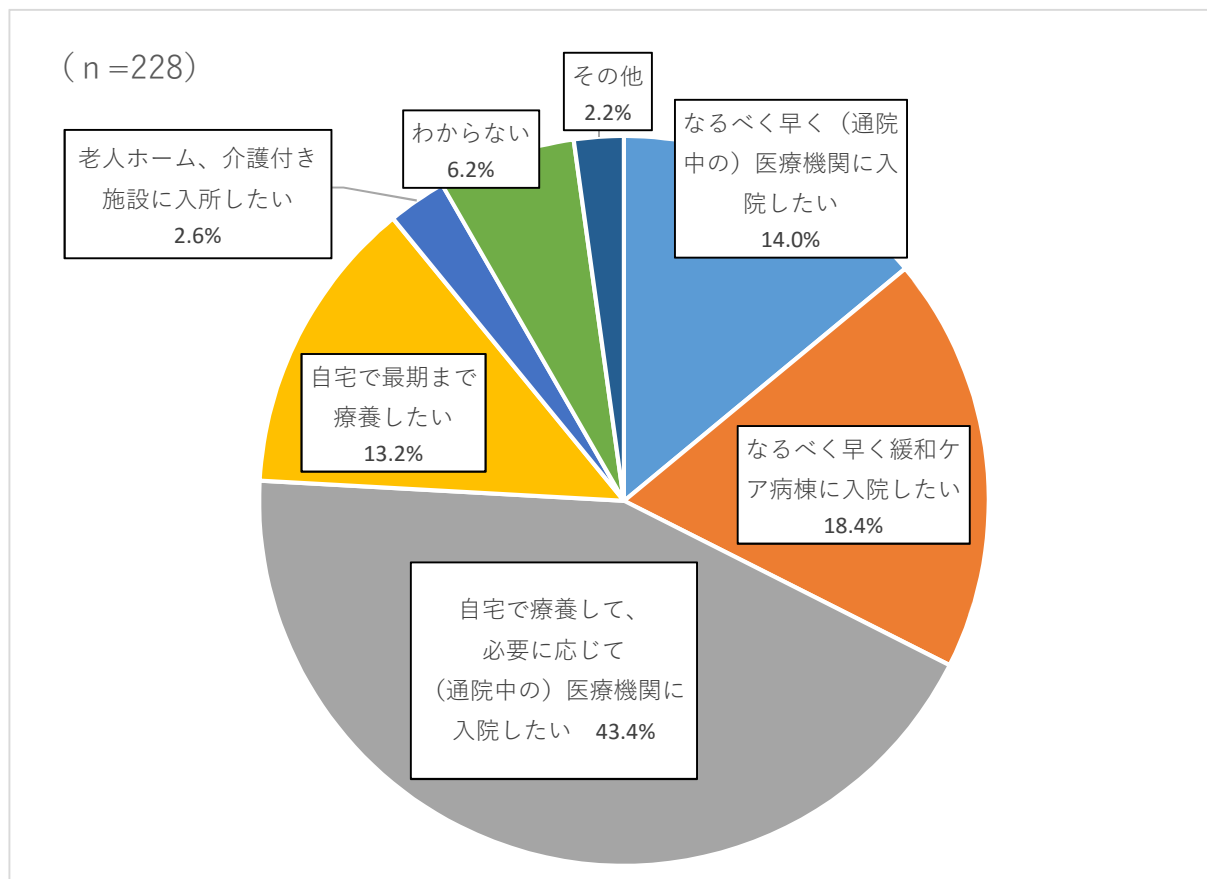


治療と現在の仕事を両立していくにあたっての、必要な支援についてたずねたところ、『主治医や医療機関のサポート』が71.9%と最も多く、次いで『勤務先の療養制度や時間短縮勤務等の充実』が52.6%、『その他』が5.3%でした。

また、『その他』の答えの中には、「自身の気持ちと家族のサポート」、「人工肛門になった場合、設備等の導入をしてくれるか」などの意見がありました。

問6. がんを治すことが難しくなり、あなたの人生の時間が残り少なくなった場合、痛みなどの症状が和らいだ状態で日常生活を送ることが出来るとしたら、どのように過ごしたいと思いますか。

(回答者数：228人)

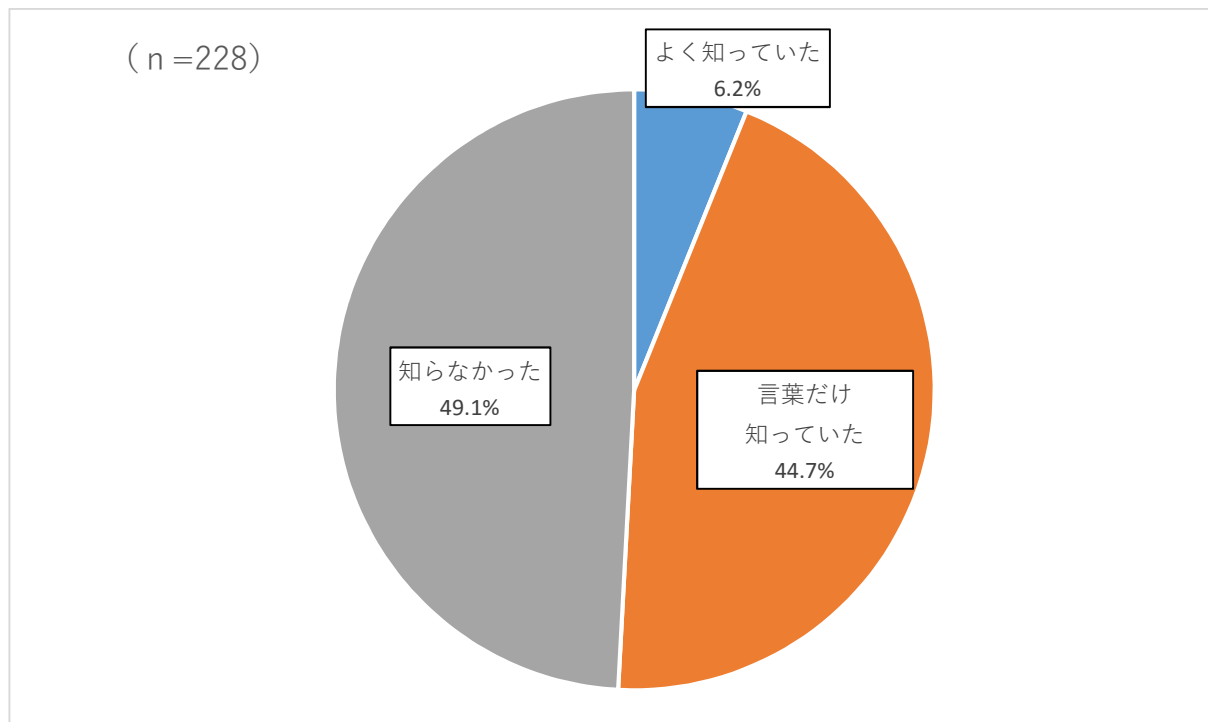


人生の時間が残り少なくなった場合、どのように過ごしたいかについてたずねたところ、『自宅で療養して、必要に応じて(通院中の)医療機関に入院したい』が43.4%と最も多く、次いで『なるべく早く緩和ケア病棟に入院したい』が18.4%、『なるべく早く(通院中の)医療機関に入院したい』が14.0%、『その他』が2.2%でした。

『その他』の答えの中には、「最後まで延命を諦めない」、「旅行や好きなことをしたい」などの意見がありました。

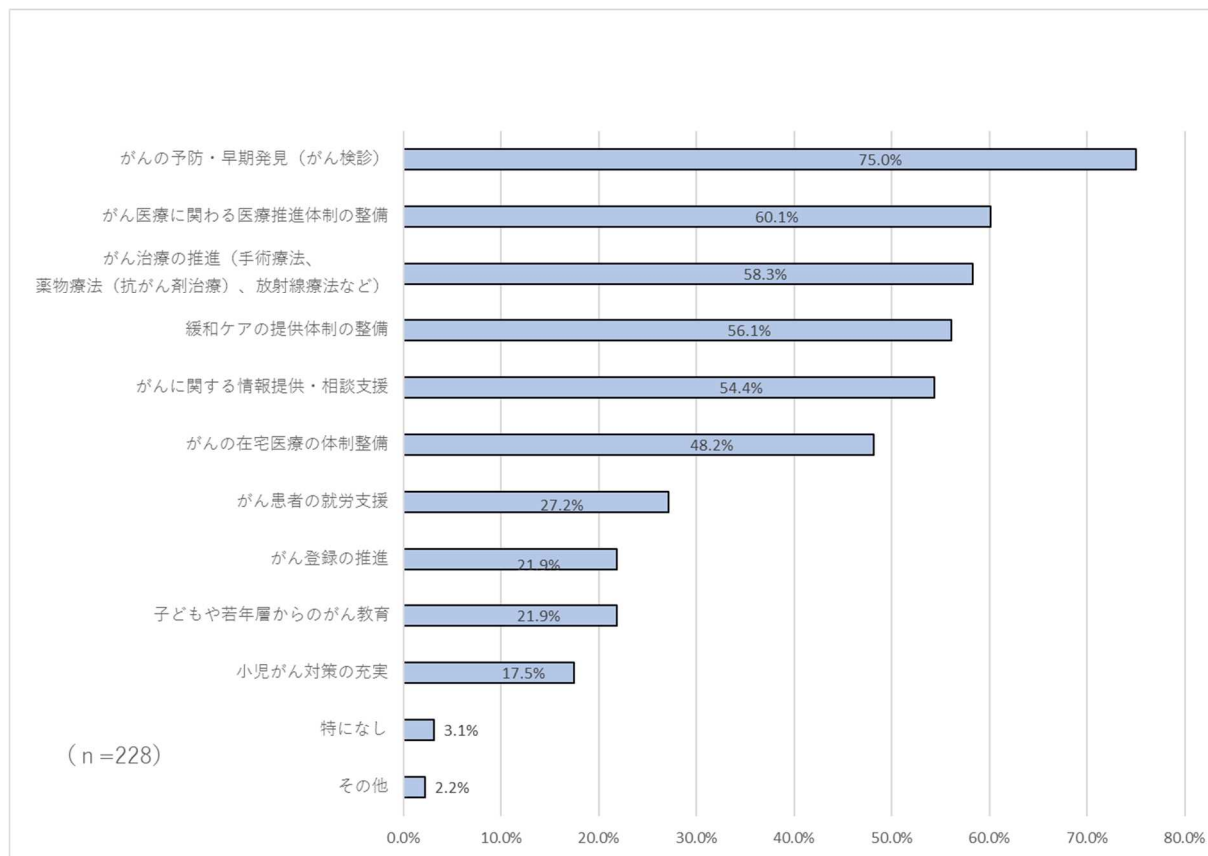
問7. あなたは、がんゲノム医療について知っていましたか。

(回答者数：228人)



がんゲノム医療の認知についてたずねたところ、『知らなかった』が49.1%と最も多く、次いで『言葉だけ知っていた』が44.7%、『よく知っていた』が6.2%でした。

問8. あなたは、がん対策について、県にどのようなことに力を入れてほしいと思いますか  
(いくつでも) (回答者数：228人)



がん対策について、県にどのようなことに力を入れてほしいかについてたずねたところ、『がんの予防・早期発見 (がん検診)』が75.0%と最も高く、『がん医療に関わる医療推進体制の整備』が60.1%、『がん治療の推進 (手術療法、薬物療法 (抗がん剤治療)、放射線療法など)』が58.3%、『その他』が2.2%でした。

『その他』答えの中には、「検診を受ける際の介護や育児の補助や、経済的補助を行い、情報を発信してほしい」、「企業で働きながら闘病できる制度づくり」などの意見がありました。

たくさんのご意見ありがとうございました。

今回の調査では、定期的ながん検診の受診や、食などの生活習慣改善などにより、がんの予防を  
実践しておられる方が多くいらっしゃる事が分かりました。

また、インターネットにより様々な情報を収集できる状況の中で、千葉県のがんに関する情報  
を発信する「ちばがんナビ」をご存知でない方が多くいらっしゃる事が分かりました。

国民の2人に1人が何らかのがんにかかると言われていたことから、さまざまな機会を通じて  
がんに関する正しい情報の周知に努めるとともに、皆様からいただいたご意見は、今後、本県  
のがん対策の推進に役立ててまいります。